

①

学び方が分かる

光村なら

どうやって学べばいいのかな

▼教師の指示を待つのではなく、自ら問いを立て、学習を進めていく子どもを育てたい。そのために、光村は、巻頭に「国語の学びを見わたそう」を設け、学びの流れを視覚化しました。

▼各単元の学習を、巻頭で示した学びの流れと同じにすることで、学び方そのものが定着する構造となります。

どうしたら学びがわくわくするのかな

②

学ぶ楽しさがある

光村なら

▼「おもしろそう。」「やってみよう。」という子どもたちの声があふれる教室となるように、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、心が踊る楽しい活動を用意しました。

▼一人一人の「読みたい」気持ちを引き出せるように、多彩なジャンルやテーマの文章・作品をそろえました。

③

学びがっつながる

光村なら

何のために国語を学ぶのかな

▼一年間の学びがっつながるように、一人一人が、自分にとっての一年間の目標を立てたり、自分ができようになったことを振り返ったりするページを設けました。

▼学びが単元を超えてっつながるように、各領域の系列を整理し、学んだことを活用できるようにしました。

